

# 保全地域で見られる植物

## 春～夏



キランソウ



ナルコクリ



キンラン・コナラ



ギンラン



ウラシマソウ



ホウチャクソウ



イグサ



カササゲ



シロネ



ミソハギ



ヤマシャクヤク



ニンジンソ

## 秋



シラヤマギク



ヤマハギ



ナンテンハギ



フジカンゾウ



アキノタムラソウ



ムラサキシキブ

# 東京都保全地域とは

東京に残る自然は市街化が進むなかで失われ、まとまりのある緑地や特徴的地形として残っている物はかなり少なくなっています。自然は一度破壊されるとその回復は難しく、長い時間が必要となります。

そのため東京都では、「東京における自然の保護と回復に関する条例」により、良好な自然地や歴史的遺産と一体となった樹林地などを保全地域に指定し、都民の大切な財産として未永く残していこうとしています。

保全地域は、自然環境・森林環境・里山・歴史環境・緑地の5種類で現在50か所があります。

## 国分寺姿見の池縁の会の活動

ボランティア団体「国分寺姿見の池縁の会」は、2016年2月設立以来、地元の身近にある貴重な自然を守り、次世代に残す活動を行っています。

この保全地域は、既存植物の種類はもとより、西国分寺駅から5分という利便性、湧水を持つ湿地等の特徴を備えています。

野草は、春にはキンラン、ウラシマソウ、ホウチャクソウ等の群生が見られ、秋には、足の踏み場もないくらいのコナラ・クマギのどんぐり、また色とりどりの“ハギ”やアキノタムラソウなどの花々が観賞できます。

この環境を保持するため、遊歩道の整備、下草狩り、植物調査等を行っています。ボランティア活動は、毎月第1日曜日午前10時から午後3時に行います。



この活動は一般財団法人セブン-イレブン記念財団の助成を受けています。

 セブン-イレブン記念財団



キンランの群生

# 国分寺姿見の池 緑地保全地域



国分寺姿見の池縁の会

# 国分寺姿見の池緑地保全地域



## 保全地域の 代表的樹木・野草



水辺に  
集まる  
野鳥



メジロ



カルガモ・オンドリ



アオサギ



カワセミ

番号	名称	場所
春～夏		
1	マダケ	A
2	コナラ	A
3	クヌギ	A
4	キランソウ	A
5	ノイバラ	A
6	サワフタギ	B-1
7	ミツバチグリ	B-1
8	フタリシズカ	B-1
9	ナルコユリ	B-1
10	ゴヨウアケビ	B-1
11	キンラン・コナラ	B-1
12	ギンラン	C-1
13	スイカズラ	C-4
14	ヒトリシズカ	C-4
15	ウラシマソウ	D-1
16	ホウチャクソウ	D-1
17	イグサ	E・湿地
18	カササゲ	E・湿地
19	シロネ	E・湿地
20	ミソハギ	E・湿地
21	ヤマシャクヤク	
22	イロハモミジ	E
23	シダレザクラ	E
24	ニリンソウ	E
25	シャガ	E
秋		
26	シラヤマギク	B-1
27	ホトギス	B-1
28	ヤマハギ	B-1
29	ナンテンハギ	B-1
30	フジカンソウ	B-1
31	アキノタムラソウ	C-2
32	ムラサキシキブ	C-2
33	ゴンズイ	C-2
34	イヌシデ	D-2
35	シラカン	D-2
36	ミズキ	D-2

姿見の池緑地面積：15,500㎡  
東京都保全地域：10,500㎡  
国分寺市緑地：5,000㎡

JR中央線

←至国立

ウラシマソウ群生

至国分寺▶

カワセミ撮影/大竹 茂(東京都世田谷区)